

光り輝く鉄道遺産はみんなの宝

入場無料
定員200名

日時：平成30年3月18日(日)

13:30~16:00

場所：きらめきみなと館小ホール

福井県敦賀市桜町1-1 (0770-20-1100)

現存する日本最古の駅舎・旧長浜駅舎や国登録有形文化財の旧北陸線トンネル群など、長浜市・敦賀市・南越前町にまたがるエリアには、貴重な鉄道遺産が数多く残っています。

こうした鉄道遺産の全国各地における活用事例をご紹介いただきながら、鉄道遺産を活かした広域的な観光誘客の方法を探っていきます。

プログラム

13:00 受付開始

13:30 ●第一部

長浜市・敦賀市・南越前町
観光連携協議会の取り組みについて

13:45 ●第二部

日本各地の鉄道遺産を活かした
まちづくりの事例紹介

- ・基調講演
- ・鉄道遺産を活かした各地事例の紹介

15:00 ●第三部

パネルディスカッション
『光り輝く鉄道遺産はみんなの宝』

16:00 終了予定

【基調講演・コーディネーター】米山 淳一氏

長浜鉄道スクエア名誉館長・
日本鉄道保存協会事務局長

財団法人日本ナショナルトラスト事務局長を務め、全国で多数の歴史・自然遺産の保存・活用・再生を手がけている。



【パネリスト】

村上 真善 氏

(NPO 法人 愛岐トンネル群保存再生委員会理事長)

約半世紀の間放置されていた国鉄中央線を発見。
整備を行い、国登録有形文化財の認定を受け、春秋公開に取り組んでいる。

萩原 豊彦 氏

(NPO 法人 碓氷峠歴史文化遺産研究会理事長)

群馬・長野間の碓氷峠に残る明治期の鉄道遺産の
保存活動に加え、それらを活かした活動に取り組ん
でいる。

長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会とは？

長浜市・敦賀市・南越前町に現存する明治時代の鉄道遺産など、近代化遺産を活用した広域的な観光連携を推進するため、平成29年10月19日に、長浜市・敦賀市・南越前町の3市町において連携協定を結び、協議会を設立しました。

協議会では、明治15年に日本海側で最初に開業した長浜一金ヶ崎(敦賀)間の鉄道の歴史や、敦賀一今庄間の急勾配の峠越えなどのストーリーを活かし、県境をまたいだ広域観光を推進していきます。



旧北陸線トンネル群



旧長浜駅舎